【別紙】平成３１年度　学 校 自 己 評 価 重 点 目 標 シ ー ト　（川口市立高等学校　全日制）

（Ａ４判横）

※学校関係者評価実施日とは、学校関係者評価委員会を開催し、学校自己評価を踏まえて評価を受けた日とする。

学校教育目標	未来を創る　しなやかでたくましい人材の育成
目指す学校像	新しい時代の教育を創造し、しなやかでたくましい人材を育てる川口市のリーディング校

達成度		
	A	ほぼ達成（８割以上）
	B	概ね達成（６割以上）
	C	変化の兆し（４割以上）
	D	不十分（４割未満）

出席者	
学校関係者（教職員を除く）	名
事務局（教職員）	名

学校自己評価							学校関係者評価
領域	年度目標			年度評価（平成３１年　１月３０日　現在）			※実施日　平成　年　月　日
	現状と課題	重点目標	具体的方策	重点目標の達成状況	達成度	次年度への課題と改善策	学校関係者からの意見・要望・評価等
組織運営	・Ｈ３１年度に策定した川口市立高等学校将来構想の具現化に向けた具体的な取り組みを始める必要がある	**「将来構想の具現化」** ①新たなタイプの進学校 ②文武両道を具現化する学校 ③理数科教育を牽引する拠点校 ④附属中学校を併設する中高一貫教育校	①週時程と土曜講習の実施について検討から準備段階へ移行（7月まで） ②文理スポーツコースの在り方ﾌﾟﾛｼﾞｪｸﾄ会議を編成し検討を開始（10月まで） ③SSH指定の申請 ④開設準備室との連携				
教育課程	・次期学習指導要領に基づき教育課程案を市教委・県教委と連携して今年度中に作成する必要がある ・国公立進学を目指す生徒の量的な確保と進路指導体制の構築が求められている	**「新たなタイプの進学校」** ⑤次期学習指導要領に対応した進学校型の教育課程を編成する ⑥国公立進学を目指す進学指導を推進する	⑤教育課程委員会を中心に全校で新しい教育課程編成に取組む ⑥国公立進学型の教育課程編成による計画的な進路指導を推進（国公立を目標とする生徒150名以上）				
開かれた学校づくり	・新しい学校への関心と期待の高さに応えるため、丁寧な情報発信が必要である ・唯一の市立高校として、地域の教育資源活用や諸機関からの支援を受けやすい環境にある	**「学校を核とした地域づくり」** ⑦市民に的確な情報発信をする ⑧リーディング校として市教委事業等に協力するとともに、地域貢献する教育を推進する	⑦ホームページやメール配信を活用した戦略的な情報発信（ｱｸｾｽ数30万以上） ⑧市教委事業に対する会場提供・協力（５事業以上） ・小中学校との連携・協力 ・社会や地域実践に学ぶ教育活動（総合的な学習）				
教職員の資質向上	・新たなタイプの進学校づくりに向けた教職員の研修システム構築が遅れている ・最新鋭の施設・設備や立地条件などから大学や研究機関から協力が受けやすい	**「新しい教育への対応」** **⑨新たな研修システムを構築する** ⑩アクティブラーニングやICTの効果的な活用を研修テーマとし、計画的な教職員研修を行う	⑨教職員グループ研修の新設（４グループ程度） ・校外研修、先進校視察（延べ２０名以上） ⑩未来を拓く学びプロジェクトに全教科が参加 ・AL、ICTを活用した授業展開の研究				
施設・設備等の管理	・自転車事故、不審者・防犯対策、アリーナ棟建設工事等、本校独自の安全面への配慮が必要となる ・ICTをはじめとする最新鋭の施設を教育活動に効果的に活用する必要がある	**「最新鋭の設備の効果的活用と安全への配慮」** ⑪自転車通学をはじめ本校特有の課題に対して安心・安全の確保に努める ⑫最新鋭の施設・設備を生かした教育活動を展開する	⑪自転車事故防止の指導 不審者・防犯対策、アリーナ棟工事中の安全確保、旧県陽、川口高校の施設の安全点検 ⑫ICTの有効活用による授業の充実とペーパーレス化				